

令和6年度 社会福祉法人 協愛福社会 施設自己評価表

(保育理念)

Happy+Natural
Happy+challenge

(保育目標)

げんきな子 やさしい子
がんばる子 ゆたかな子

A：よくできている

B：わりとできている

C：一部改善が必要

D：改善しなければならない

	内容	前年評価	今年評価	現状・課題
保育目標に	(1)保育士一人一人が、協愛福社会の保育理念、保育目標を理解している	B	B	法人理念に基づいて保育を目指し理解はしているが、一人ひとりのズレを感じる部分ある。次年度は主観が伴う解釈を園全体で共有しズレをなくしていく。
	(2)子ども一人一人の主体性を大切にされた保育をしている	B	C	
	(3)すべての子どもについて一人一人の存在と、その人種を尊重している	C	B	
保育について	(1)保育計画に基づき、子ども一人一人の発達の姿や興味を把握して、年間計画、月のカリキュラム、週案を立てている	B	A	今年度は“繋がり”をスローガンに保育を行っていった。職員一人ひとり試行錯誤しながら目の前にいる子どもたちと向き合っていたが、どうしてもほ保育教諭等大人の思いの方が強いところもある。次年度は共主体を意識しながら保育に努めていきたい。
	(2)3歳未満児は、現在の姿を理解し、一人一人に保育計画を立てている	B	B	
	(3)素材・用具を適切に使用している	C	C	
	(4)環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫している	C	C	
	(5)職員間で子どもへの理解を深め、お互いの考えを十分に理解したうえで、保育を行っている	B	B	
	(6)1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよい	C	B	
食育について	(1)食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせて食育計画を立てている	C	C	食育計画表に基づき食育活動を行っているが、一部で保育教諭の思いが強い活動もある。今後も子ども主体の活動なのかを考えながら進めていきたい。
	(2)栄養士、保育士が連携し、会議等で意見を交わしながらより良い給食になるよう努めている	B	B	
	(3)アレルギー疾患等の子どもに対し医師の指導の下、保護者との連携を図り適切な対応を行っている	A	A	
役割分担 研修構成	(1)職員の仕事や役割が明確であり、それぞれの仕事を責任を持って行っている	C	B	昨年度の反省を活かしそれぞれの役割を把握し業務できた。引き続き組織の役割を考えながら更によりよい組織を目指していくようにする。
	(2)危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制が整えられている	B	C	
	(3)園内外の研修は計画を立て実行している	C	B	

		前年評価	今年評価	
保護者支援・情報	(1)保護者に対して、丁寧な言葉遣いと、気持ちの良い対応を心掛けている	B	B	保護者への支援を行っているが、アンケート結果ではあまり寄り添えていないとの声も少数だがある。子どもたちの成長や悩みに共感し、専門性を生かし子どもを深く理解する視点を伝えるなど環境を整えていきたい。
	(2)保護者に子どもの伸びているところや課題を伝え、連携をとっている	B	B	
	(3)様々な園行事を通して保護者との良好な関係を築こうとしている	B	A	
	(4)園だより、ドキュメンテーション、きつずノート、ホームページ等を通して、保育内容や子どもの姿や保護者への情報を発信している	B	C	
	(5)子どもの個人記録は、個人情報保護法に基づいて管理している	A	A	
	(6)職員に、園内で知り得た事柄に対しての守秘義務を周知徹底している	B	A	
開かれた保育園	(1)小学校と連携し、情報交換をする機会を待つ	A	A	配慮を要する園児に関しては保護者と話し合いながら、適宜関係機関と連携をとることができた。今後も同様に子どもを一番に考えてよりよい生活になるように努めていく。
	(2)気になる子どもの対応について、外部の専門機関と連携をとりながら対応している	B	A	
子育て支援	(1)地域で子育てをしている親子の交流の場となるように努めている	D	C	今年度より子育て支援を定期的を実施した。地域において、身近な子育ての支援を行う施設の一つであることへの再認識を深め、より開かれた施設になるよう努めていく。
	(2)子どもの心身の発達や育児不安について気軽に相談できるように努めている	C	B	
	(3)園生活の子どもの様子を地域にも発信している	C	C	

総合的な現状と課題

年度末にはやむを得ない退職はあるが、昨年度に比べ今年度は安定した職員配置で保育をすることができた。心にゆとりができることで、子どもたちからのつぶやきや興味に寄り添った保育を心がけ実行することができた。一方で、子どもたちへの言葉がけや保護者支援などで多くの課題がある。園に携わる職員一人ひとりが専門性を生かし、子どもたちにとって最善の利益を考えて対応できるように努めていく。

園名 認定こども園 ひなたの風 氏名 岡本 満江